

2017年

4月4日(火)～
7月2日(日)

午前10時～午後6時(午後5時30分まで受付)

[休館日] 月曜日(ただし、5月1日は開館)

[観覧料] 一般 500円、大学生 300円、
高校生 200円、小・中学生 100円
※団体20名以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

[主催] 新潟市會津八一記念館

[共催] 新潟日報社

[後援] BSN新潟放送

[協力企業] 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

その制作の現場
名品たちを生んだ、秘密の資料を一挙公開。

書人 會津八一

新潟市
會津八一記念館
2017年春
企画展



八一が何度も書き記し、下書きを行ったノートブック

写真:「揮毫・會津八一」(撮影・小熊義人/1949年)



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館 〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5F
TEL.025-282-7612 (10:00～18:00) <http://aizuyaichi.or.jp>

書人 會津八一

新潟市 會津八一記念館
2017年春
企画展

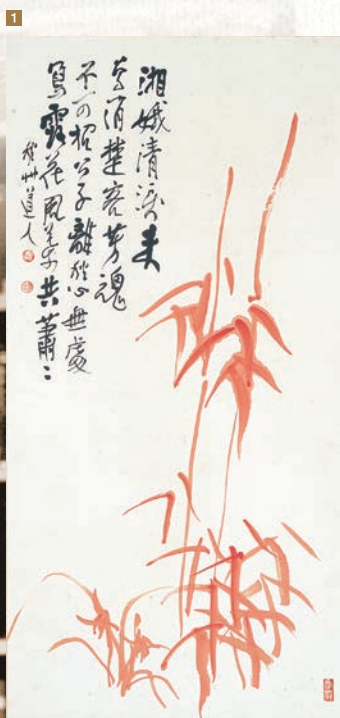
その制作の現場

會

津八一は独往の書家として知られ、数々の名品を残しています。一見、自由闊達、縦横無尽とみられる八一の書ですが、実は厳格で精密な制作を試みていました。彼は徹底した準備と、たゆまぬ努力で独自の芸術に挑んでいたのです。

その痕跡は、八一が残した書と資料などからも垣間見ることができま。創作のために準備した様本（ノートブック）には、ペンで気に入った文字を書き写し、その配置を何度も書き記しています。また、筆を持つても、下書きを繰り返し行っています。いざ本番を迎えても、何度も揮毫し、その中から自らが納得した書だけに印を押しています。その制作の労を示すように、八一の揮毫風景を撮影した写真にはたくさんさんの書物と、書き損じの紙に埋め尽くされた部屋が映し出されています。

本展では、八一が残した作品と、様々な資料を紹介しながら、彼の書の秘密を解き明かしていきます。



1. 會津八一《朱蘭竹園・湘娥清淚未曾消》(昭和22年・65歳)
2. 會津八一《竹園・心中有箇不平事》
3. 會津八一《様本》(揮毫便覧、ハンドブック的なもの)
4. 會津八一《団扇・溪梅一朶香》原稿と製品(昭和29年頃・73歳頃)
5. 會津八一《様本》(作品の草稿的なもの)

EVENT INFORMATION

〈会期中のイベント〉

講演会

演題「書家から見た會津八一の魅力」

【講師】杭迫柏樹氏(書家・日展会員) 【会場】メディアシップ 日報ホール
【日時】平成29年5月25日(木) 【定員】150名
【聴講料】500円

※往復はがきに住所、氏名、電話番号をお書きの上、會津八一記念館へお申し込みください。
※1通につき1名様までのご応募といたします。定員に達し次第締め切ります。

写真:「書齋・會津八一」(撮影・小熊義人/1949年)



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市 會津八一記念館

◎交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分

◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業)、時間貸し駐車場 220円(税込)/30分、夜間最大(22時～翌8時) 1,000円(税込)、時間貸し駐車スペースは3～4階(77台)

万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

お問合せ先

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614
当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。
(階段はございません)

